

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和05年03月22日

計画の名称	松山中心拠点再生地区まちなかウォークラブル推進事業												
計画の期間	令和04年度 ~ 令和08年度 (5年間)										重点配分対象の該当	○	
交付対象	松山市												
計画の目標	公共交通を活用した拠点地区の賑わい再生、歴史的資源を活かした都市の魅力向上による「歩いて暮らせるまち松山」の実現												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	6,194	A	6,194	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R4当初)	中間目標値 (R6末)	最終目標値 (R8末)
1	公共交通の利用者数の増加 郊外電車及び路面電車の乗降客数(人/日)の変化を把握する。 郊外電車・路面電車の乗降客データ(伊予鉄道松山市駅、JR松山駅)	45400人/日	45400人/日	46100人/日
2	都市機能施設の利用件数の増加 城山公園(堀之内地区)の有料利用イベント件数(件/年)の変化を把握する。 城山公園(堀之内地区)の有料利用イベント実績(件/年)	35件/年	35件/年	45件/年
3	歩行者数の増加 地区内の主要路線の歩行者交通量(人/平日12時間)の変化を把握する。 歩行者交通量調査のデータ(千舟町通り、花園町通り)	6040人/平日12時間	6040人/平日12時間	6190人/平日12時間
4	良好な都市景観の形成 松山市景観計画に基づく景観形成重点地区の変化を把握する。 景観形成重点地区(箇所)	3箇所	3箇所	4箇所

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業																						
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況			
												R04	R05	R06	R07	R08						
一体的に実施することにより期待される効果																						
備考																						
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	松山市	直接	松山市	-	-	松山中心拠点再生地区まちなかウォークアブル推進事業	道路、公園、地域生活基盤施設、高質空間形成施設、提案事業	松山市						6,194		-			
												小計						6,194				
											合計						6,194					

社会資本整備総合交付金の執行状況

【20章】松山中心拠点再生地区まちなかウォークアブル推進事業

(単位：百万円)

	R4	R5	R6	R7	R8
配分額 (a)	109				
計画別流用増減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	109				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	46				
翌年度繰越額 (f)	63				
うち未契約繰越額 (g)	0				
不用額 (h=c+d-e-f)	0				
未契約繰越率 + 不用率 (i=(g+h)/(c+d)) %	0				
未契約繰越率 + 不用率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

計画の名称： 松山中心拠点再生地区まちなかウォークブル推進事業

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 都市再生基本方針との適合等 1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 都市再生基本方針との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 1) まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○

ちゅうしんきよてんさいせい まつやまし
中心拠点再生地区（愛媛県松山市）

（まちなかウォークブル推進事業）

1. 地区概要

本地区は、松山市街地の中心に位置し、業務・商業の中核として発展を遂げてきたが、市街地外延化による都市コストの増大や商業施設等の郊外立地による中心市街地の衰退など、都市構造とそれを支える都市交通に課題を抱えている。

このことから、本市の2大交通結節点である松山市駅・JR松山駅の拠点開発と両駅を結ぶネットワーク強化に向けた道路や都市公園の整備に加え、沿道建物との一体的な景観整備を進めることで、公共交通を活用した拠点地区の賑わい再生や、歴史的資源を活用した都市の魅力向上を図り、「歩いて暮らせるまち松山」の実現を推進することとしている。

2. 計画内容

- 所在地：愛媛県松山市
事業主体：松山市
面積：122.0（93.0）ha
交付期間：令和4年度～令和8年度
事業費：全体6,194.0百万円
（国費：3,097.0百万円）
事業内容：道路整備、公園整備等

